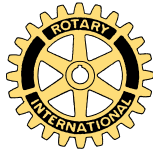


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 加藤 哲也  
幹事 久米 博明  
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2945回例会プログラム

[当年度=13回目; 当月=4週目]

2016年(平成28年)10月24日(月)

職場例会 於: 株式会社キャッチネットワーク

## 1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:30 1. 点鐘……………〈会長〉  
2. 開会宣言  
3. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
5. 食事

- 12:40 6. 会長挨拶並びに会長報告  
7. 幹事報告  
8. 出席報告  
9. 委員会報告  
10. ニコニコボックス報告  
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(10/31) ……

クラブフォーラム(米山記念奨学委員会)  
講師 米山奨学生 サエズ・アニー・アラナ 様  
地区米山記念奨学委員会委員

加藤 英樹 様

(紹介者 神谷 強 会員)

※第1四半期皆出席の発表(出席委員会)  
(11/7) ……

バンコク・スワナブーム RC 来訪例会

## 2. クラブフォーラム……………〈司会: 職業奉仕委員会〉

- 12:50 ~ 13:20 「キャッチネットワークの働き方」  
株式会社キャッチネットワーク  
代表取締役社長 森 雅博 様  
(紹介者 鈴木文三郎 会員)

12. 謝辞  
13. 諸事ご案内……………〈職業奉仕委員長〉  
14. 点鐘……………〈会長〉

13:20~14:00 見学

## 出席

会員総数 95名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 81名  
欠席 12名 出席率 85.19%  
前々回(10/3)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 10月21日(金) 富士松南小学校の学校訪問コンサートに行って参りました。
- 2) 10月22日(土) 23日(日)、開催されました「ワールドフードふれ愛フェスタ」に行って参りました。
- 3) 10月23日(日) 刈谷市社会福祉協議会共催の刈谷市福祉健康フェスティバルに行って参りました。
- 4) 10月23日(日)、刈谷ハイウェイオアシスで開催されました「刈谷音楽協会の日」に行って参りました。刈谷ロータリーバンドの素晴らしい演奏を聴きました。

## 会長あいさつ

加藤 哲也



本日は恒例となりました職業奉仕委員会の大きな行事のひとつである職場例会でございます。

株式会社キャッチネットワーク様のご理解のもと訪問が叶い会員一同大変うれしく感謝申し上げる所です。

さて今から25年前、1991年設立されたこのテレビ局キャッチは発足以来、様々なご努力のもと開局、開始、導入と発展するばかりであり地域にかかわるものとして大変喜ばしくまた誇らしく思う所です。

キャッチと言えば碧海5市の頭文字から名づけられたと存じていますが、今では森雅博社長を先頭にすばらしい経営理念(K A T C H)のもと誠実な企業をめざして努力をつづけておられます。今後益々のご発展、ご繁栄を心よりご期待申し上げます。

この後の会社概要等のプログラムを大変楽しみにしています。

会員の皆さんはこのように職場を見学、視察することが各会社また個人のために意義あるものとなることを祈念申し上げあいさつとします。

## 職 場 例 会

### 〈職業奉仕委員会〉

#### ご挨拶



株式会社キャッチネットワーク  
代表取締役社長 森 雅博 様

皆さん、こんにちは。キャッチネットワークの森です。

本日は、鈴木社長のお骨折りで、皆様をお迎えすることができ、大変光栄に存じます。

後程、社内をご案内致しますが、街のテレビ局、ラジオ局としてだけでなく、通信のインフラ企業、インターネットのサービスプロバイダー企業、また固定・携帯両方の電話サービス企業などと、多彩な顔を持っているのがキャッチネットワークです。

また、皆様のお役に立てるよう法人向けサービスも充実させておりますので、お手元の「キャッチビジネスONE」のパンフレットをご活用ください。社内のネットワーク構築から、クラウドサービス、セキュリティサービス、データセンター、防犯カメラなど幅広くご利用頂けます。

加えて、キャッチでは、新しい働き方としてのフリーアドレスやテレワークへの対応等も済ませておりますので、見学の際には参考にして頂ければと存じます。

さて、本日は「働き方・働かせ方」について、少し話したいと思います。以前、ケーブルテレビ業界のセミナーの講師を頼まれて、このテーマで2度ほど講演したのですが、その後、安城市役所からの依頼で、係長・課長クラス120人に1時間半程話をする機会がありました。長丁場ではありましたが、結構真剣に聞いてもらえたので、今日は、そのエッセンスを話したいと思います。

ちなみに先月は碧南のロータリークラブの例会に呼ばれて同様の話をしてまいりました。

それでは本論に入ります。

昨年9月に株式会社ワーク・ライフバランスの小室淑恵社長にキャッチで講演をして頂いたのですが、小室社長の話が、いままで漠然と感じていた「日本の仕事の仕方の問題点」をうまく整理してくれましたので、少し紹介します。

現在は中国に抜かれ3位ではありますが、日本が世界第2位の経済大国になれたのは、人口ボーナス期と長時間労働の賜物であって、時間当たり労働生産性は先進国中最下位という小室さんの話が私の心に響きました。

つまり「やはり日本の仕事のやり方は間違っていた」ということが腑に落ちたということです。日本人は間違った仕事のやり方を後生大事に長年受け継いできました。

小室さんの講演から、人口ボーナス期とは；

ある社会が「多産多死」の社会から「少産少死」の社会に切り替わる時に、人口構成比の子供が減り、生産年齢の人口が多くなった状態で、高齢者が少ないため社会保障費はかさまず、経済発展がしやすい条件がそろいます。この時期を人口ボーナス期と呼ぶそうです。

これは、ハーバード大学のデービットブルーム教授が10数年前から提唱している考え方で、現在の中国・韓国・シンガポールやタイがそれにあたり、日本は1960年頃から始まり、1990年代半ばに人口ボーナス期を終えました。

小室さんの話では、日本が世界第2位の経済大国になれたのは、人口ボーナス期とともに、長時間労働を主原因として上げていますが、私が注目したのは、日本の単位時間当たりの労働生産性はOECD加盟国中22位。つまり、先進国では最下位クラスということなのです。

過去にさかのぼっても同様な位置にいたとのことです。

やはり、日本人の働き方には問題がありそうですね。

しかし「正しい仕事の仕方に変えれば生産性は大幅に改善できる」とも言える訳ですから、ここはしっかりとこの問題を認識する必要があります。

先進国の中で「時間当たり労働生産性」が最下位レベルの日本ですが、何故間違った仕事の仕方続けているかを考えると、結局は管理監督者や経営者の問題に行き着くことになります。

現在の企業で管理する立場にいる人の多くは、間違った仕事のやり方を正しいと信じて、出世競争を勝ち抜いた人達です。ですから自分たちの時代の働き方を正しいものとして引き継いでいる訳です。

もちろん改善していることもあるでしょうが、疑問に思うことなく常識と思いこんでいることが多くあります。

例えば、社員は一律に管理すべきものとか…。

社員を管理することが管理監督者の仕事であるとか…。プロジェクトをA3用紙1枚にまとめないような人間は仕事ができないやつだとか…。

状況や問題を整理してA3にまとめられるような論理的な頭脳は必要ですが、A3にまとめなくても仕事は進んでいきます。あくまでも行動して仕事で成果を出すことが目的であり、A3の紙を作ることは目的ではないということです。

言わば、中小企業にも蔓延している大企業病ですね。

ドラマ「半沢直樹」で、テーブルを叩きながら、「どうして目標が未達なのだ！ 目標未達だ！ 死んでもやれ！」と部下をいじめ抜く管理職がいましたが、あの人は付加価値を生んでいるのでしょうか？

あそこまで酷いことはないでしょうが、管理の名のもとに仕事の邪魔をする管理監督者はウヨウヨいるような気がします。そういう管理監督者も決して邪魔をしようとは思っていないはずですから事は厄介です。と、4月のセミナーで業界からの参加者に向かってボロクソに吠えましたが、仕事の仕方を間違えている人が多いということです。

さて、合理に基づいた仕事の仕方を突き詰めていくと、

社内の働き方にも変化が必要となります。今日はもう時間がありませんので、細かい内容は省略しますが、オフィスフリーアドレスにするとか、テレワークを採用するとか、またワーク・ライフバランスに取り組むとか…。最近のキャッチは大きく変化しています。結果として残業時間も大幅に減ってきています。

この後の社内見学で、そんなところにも注目して見て頂ければと存じます。

本日はご清聴ありがとうございました。

